

平成30年度 南が丘小学校の学校自己評価

— 一学期試行の結果と二学期の途中経過 —

1 学校自己評価

学校自己評価とは、子どもたちがより良い教育を享受できるよう、その教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と発展を目指すための取組です。「自己」の語が示すとおり、教職員が自ら行うものです。本日の学校運営協議会では、この学校自己評価の結果を対象として協議していただきます。

2 本年度からの学校自己評価

本年度、これまでの学校自己評価の在り方を抜本的に見直すことにいたしました。理由は、従来の学校自己評価が取組の状況を評価の対象としており、「何にどう取り組んだのか」は分かっても、取組の結果、「子どもたちがどのように変容したか」は分かりにくかったためです。つまり、従来の学校自己評価では取組の適切さや効果の検証が十分にできなかったのです。

そこで本年度より、取組の結果が「どのようにあらわれたか」を検証するため、評価の対象を実際の子ども姿へと変更することにいたしました。この変更により、取組の成果や課題がより明確になり、学校運営の改善と発展が可能になると考えました。

3 取組の概要

(1) めざす子どもの姿

取組によって実現をめざす姿として、次の6点を設定しました。

- | | | |
|--------------------------|--------------|---------------|
| I 学び合い ともに高まり合う子 | ①進んで学習に取り組む子 | ②聴き合い伝え合える子 |
| II 自分や身近な人を大切にする子 | ①進んであいさつをする子 | ②気持ちを考え行動できる子 |
| III 安全と健康に気をつける子 | ①きまりを守る子 | ②ものを大切にする子 |

(2) 「めざす子どもの姿と達成状況評価シート」(以下「評価シート」と略記)

情報共有のツールとして、4項目(「子どもの現状(取組前の状態)」「めざす子どもの姿」「主な取組内容」「達成状況」)から成る「評価シート」を、姿ごとに作成しました(図1、および5頁以降参照)。

平成30年度 学校自己評価 めざす子どもの姿と達成状況評価シート

めざす子どもの姿	学期	主な取組内容	達成状況	
			評価方法	結果・考察
子どもの現状(取組前の状態)	3			
	2			
	1 (試行)			

※表中の()内は主な担当部署を表し、下線部は前学期からの変更内容を表す。

図1 評価シート

(3) 評価

各姿の達成状況を、次の2つの方法で評価することとしました。

① 教員の観察による評価

各学期末、各子どもの姿について、4件法で評価します。

4 : 「十分達成できている」と判断されるもの

各学級の85%以上の子どもが達成できている場合

3 : 「おおむね達成できている」と判断されるもの

各学級の70%以上85%未満の子どもが達成できている場合

2 : 「努力を要する」と判断されるもの

各学級の55%以上70%未満の子どもが達成できている場合

1 : 「一層努力を要する」と判断されるもの

各学級の55%未満の子どもしか達成できていない場合

② 児童への質問紙調査

各学期末、児童を対象とした質問紙調査を行います。質問紙は、低中高の3種類作成し、めざす子どもの姿に対応した6つの質問を設定します(児童には、「学習・生活ふり返しシート」の名称で示します。図2参照)。児童は、各質問に対し、「よくできた」「できた」「あまりできていない」「できていない」で回答させます。「あまりできていない」「できていない」と回答した児童には、今後の取組を構想するにあたっての資料とするため、その理由も記入させます。

南が丘小学校 学習・生活ふり返しシート 中学年用	
()年()組()番 名前()	
一学級のあなたの学習と生活のようすについてふり返ります。あてはまるもの(ア～エ)に○を付けましょう。ウとエの時は、そのわけも書きましょう。	
①自分からすすんで学習に、とり組むことができた。	
ア:よくできた イ:できた ウ:あまりできていない エ:できていない	
※ウ・エの時(わけ))
②友だちの話をよく聞き、自分の考えを話すことができた。	
ア:よくできた イ:できた ウ:あまりできていない エ:できていない	
※ウ・エの時(わけ))
③友だちやまわりの人に、すすんであいさつすることができた。	
ア:よくできた イ:できた ウ:あまりできていない エ:できていない	
※ウ・エの時(わけ))
④友だちやまわりの人の気持ちを考えて、生活することができた。	
ア:よくできた イ:できた ウ:あまりできていない エ:できていない	
※ウ・エの時(わけ))
⑤まわりをまもって生活することができた。	
ア:よくできた イ:できた ウ:あまりできていない エ:できていない	
※ウ・エの時(わけ))
⑥ものを大切に使い、きれいにととのえることができた。	
ア:よくできた イ:できた ウ:あまりできていない エ:できていない	
※ウ・エの時(わけ))

図2 「学習・生活ふり返しシート」(中学年用)

4 一学期の試行的取組と結果

一学期は、各学年1学級ずつ代表学級を設定し、6学級で試行的な取組を行いました。「主な取組内容」は、5頁以降の各「評価シート」、③「1（試行）」に示しました。

(1) 教員の観察による評価の結果

1（一層努力を要する）と2（努力を要する）は、ゴシック体で表示しました。

項目	1年	2年	3年	4年	5年	6年	平均
I①	3	3	3	3	3	3	3
I②	2						
II①	3	1	1	1	1	2	1.5
II②	3	3	3	2	3	3	2.8
III①	3	3	3	3	3	3	3
III②	3	2	2	2	2	2	2.2

表1 一学期の観察による評価の結果

各姿の間で達成状況に大きな差があることが明らかになりました。I②（聴き合い伝え合う子）とII①（進んであいさつをする子）は、努力して取り組みを進める必要があります。

(2) 児童への質問紙調査の結果

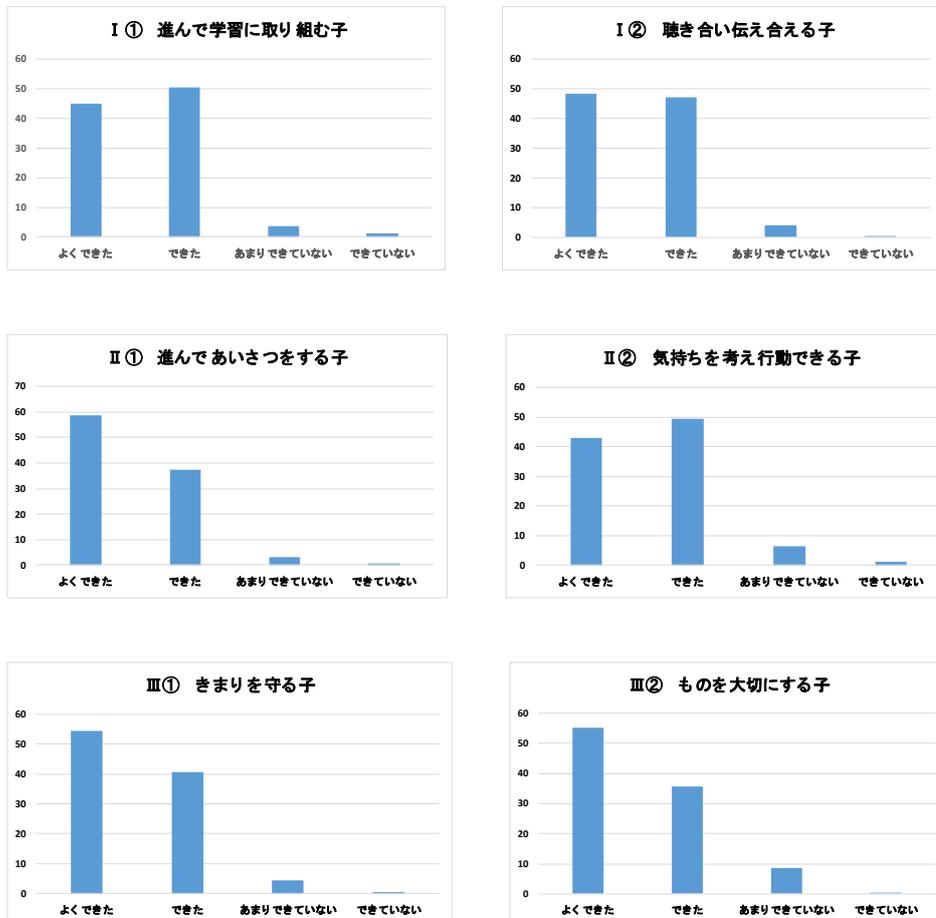


図3 児童への質問紙調査の結果（全校の平均値）

(1)の「教員の観察による評価」(表1)との間に大きな隔たりが認められます。教員と児童の間でイメージする姿が異なっていることが原因と考えられます。双方のイメージを近づけるため、具体的な評価規準を設定する必要があります。

5 二学期の取組と現状

一学期の代表学級による試行的取組から得られた知見に基づき、二学期、全校で次のように取組を進めています。

(1) 取組内容

「主な取組内容」は、5頁以降の各「評価シート」、③「2」に示しました。

(2) 取組開始

二学期の始業式において、学校長が児童に対し「めざす子どもの姿」を示し、全校での取組開始を宣言しました。この宣言を受け、各学級で担任から取組の詳細が説明されました。その際、児童と教員との間でめざす姿のイメージ共有をめざし、具体的な評価規準を示しました。

めざす子どもの姿	1年	2年	3年	4年	5年	6年
I ①進んで学習に取り組む子	・チャイムがなったら、席に座ろう。	・つぎの学しゅうのじゅんぴをしてから休み時間にしよう。 ・チャイムちやくせきをしよう。	・積極的に手をあげよう。(※音読など)	・宿題は直しまで、ていねいに取り組もう。 ・チャイムがなるまでに次の学習の準備をしよう。	・チャイムと同時に授業を始める。 ・自主学習に積極的に取り組む。 ・宿題を毎日提出する。	・1回挙手をする。 ・宿題を毎日提出する。
I ②聴き合い伝え合える子	・話をしている人の方を見て、最後まで聞こう。	・あい手を見て、うなずきながら、おしまいで聞こう。	・相手の意見に必ず自分の意見を返そう。	・相手を意識して、自分の考えと比べながら聞こう。	・相手の意見と自分の考えを比べながら聞く。 ・具体例を挙げて自分の意見を伝える。	・話している人の方を見る。 ・メモを取りながら話を聞く。
II ①進んであいさつをする子	・自分から、あいさつをしよう。	・自分からあいさつをしよう。	・自分からあいさつをしよう。(※他学年の先生や来客の方に対して)	・自分からあいさつをしよう。	・自分からあいさつをする。	・先生より先に挨拶をする。 ・相手の目を見て挨拶をする。
II ②気持ちを考え行動できる子	・ふわふわことば(2学期学習)を使おう。	・「ありがとう。」「ごめんなさい。」を言おう。	・教室にあふれさせたい言葉を使おう。	・困っている子に気づき、声をかけよう。	・相手の立場に立って、声をかけたり行動したりする。	・トイレのスリッパを週に1回以上そろえる。
III ①きまりを守る子	・ろう下を静かに歩こう。	・ろう下をしずかにあるこう。	・ろう下をしずかに歩こう。	・教室や廊下での正しい過ごし方を守ろう。	・ろう下や階段を静かに歩く。 ・時間を守って行動する。	・筆箱の中身を整理する。
III ②ものを大切にする子	・自分の持ち物に名前を書こう。 ・使ったものは、元に戻そう。	・つかったものは、元にもどそう。	・そうじ道具の片づけをてっぺいしよう。 ・自分の持ち物には名前を書こう	・落とし物をなくそう。	・正しい掃除の仕方をも身につける。 ・自分の持ち物は自分で管理する。	・食器を丁寧にかたづける。

表2 学年別評価規準

(3) 情報発信

本取組については、「学校だより」や学校ホームページで情報発信し、保護者や地域の皆様にご理解とご協力をお願いしていきます。

(4) 評価

11月上旬、次の評価を行います。

- ①観察による評価（全学級）
- ②児童への質問紙調査（全学級）

(5) 結果の分析・考察と三学期の「主な取組内容」の決定

二学期の取組結果の分析・考察を行い、「主な取組内容」が適切かつ効果的であったかを検討します。この作業を受け、三学期の「主な取組内容」を決定します。その際、児童に示した具体的な評価基準についても再検討します。

(6) 二学期取組の総括

終業式において、学校長が二学期を総括し、今後も継続して取り組む項目と改善すべき項目について確認します。これを受け、担任からも二学期を総括した具体的な話をし、三学期への意欲を高めます。